

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R4決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	2 評価責任者氏名				
			内 人件費	3 妥当性評価				
			内 人件費	4 有効性評価				
			内 人件費	5 効率性評価				
1	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	18,108,960	事務事業評価		建築から35年経過し老朽化が進んでいるため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については早期に修繕を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 電気設備等の点検業務を実施し、不具合箇所の早期発見に努めた。 受変電設備改修工事を実施した。 照明器具の取替修繕(LED化)、風除室自動ドア修繕等を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。 	屋上防水を最優先事項とし改修を実施する。施設の長寿命化を考慮し外壁改修等を実施していくことで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	60101010		9,564,570	1 消防本部 消防課				
	本署管理事務		8,544,390	2 鈴木 智博				
			18,163,633	3 高い				
			11,540,264	4 高い				
		6,623,369	5 普通					
2	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	15,579,398	事務事業評価		建築から24年経過し老朽化及び塩害による不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 電気設備等の点検業務を実施し、不具合箇所の早期発見に努めた。 給湯管の漏水修繕等を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。 	施設の長寿命化を念頭に定期的な予防保全を実施し、劣化防止や故障等を未然に防ぐことで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	60101020		5,742,796	1 消防本部 消防課				
	赤羽根分署管理事務		9,836,602	2 鈴木 智博				
			11,455,381	3 高い				
			3,257,056	4 高い				
		8,198,325	5 普通					
3	消防・救急体制の充実	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の施設設備等の維持管理を行う。	18,668,446	事務事業評価		建築から51年経過し老朽化が進んでいるため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 電気設備等の点検業務を実施し、不具合箇所の早期発見に努めた。 照明器具の取替修繕(LED化)、消防設備及び敷地内フェンスの修繕等を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。 	老朽化が進む施設の適切な点検維持管理を行い、施設の長寿命化を考慮し必要な修繕等を実施していくことで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	60101030		5,008,108	1 消防本部 消防課				
	渥美分署管理事務		13,660,338	2 鈴木 智博				
			18,280,539	3 高い				
			4,753,980	4 高い				
		13,526,559	5 普通					
4	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。 	332,602,652	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ベテラン職員の退職に伴い、若年化が進む中、消防力の低下を抑えるため核となる中堅職員の更なるスキルアップを目指すとともに、若手教育を強化し消防力全体の底上げを図る。 多様化する災害の発生により、年々広域応援体制が強化される中、特異災害への対応力の向上を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防力の維持、向上を目的に、中堅職員には新任小隊長研修を行い、隊長に必要な知識や心構えなどを教育し、経験が少ない若手職員には実事例を報告、研修するなど、創意工夫して職員教育を実施した。 解体前の建物を活用して訓練を行い、現場対応力の向上に繋がる訓練成果を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々多様化する災害及び広域化する出動に対応するため、各種訓練を継続し、更なる消防活動技術の習得に努め、各種災害に対応できる消防力の向上に努める。 資機材の老朽化に伴う機能低下や事故を防ぐため、適正な維持管理を実施し、適宜更新計画を見直し消防力の低下を防ぐように努める。
	60101060		6,635,668	1 消防本部 消防課				
	消防活動事業		325,966,984	2 鈴木 智博				
			318,692,156	3 極めて高い				
			6,716,591	4 高い				
		311,975,565	5 高い					
5	消防・救急体制の充実	東三河共同受信において迅速かつ確かな出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	99,266,094	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> 東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と連携し、円滑な通信業務を実施している。 通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線を維持管理していくため、修繕又は更新する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 東三河消防指令センターとの情報交換を密に行い、システムトラブル等の共有及び早期解決に努め、消防救急デジタル無線の円滑な運用が図れた。 通信指令システムの世帯主及び目標物データの更新を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防通信指令システムの更新計画に基づき、東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と緊密な連絡体制を構築する。 通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線の老朽化に伴う出動指令の遅延や通信障害の防止を図るため、更新計画を作成し適正な維持管理に努める。
	60101070		22,109,213	1 消防本部 消防課				
	通信指令事務		77,156,881	2 鈴木 智博				
			96,106,516	3 極めて高い				
			21,989,515	4 高い				
		74,117,001	5 高い					
6	消防・救急体制の充実	水・火災等の災害時に安全・迅速な消防団活動を実施するため、装備・資機材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を実施する。また、消防団員の処遇を改善し、地域防災力の充実強化に努める。	107,055,138	事務事業評価		災害形態の多様化により消防団活動が多岐にわたり、その役割はより大きくなっている。課題として団員の確保が厳しい現状であるが、市民の安心・安全を確保するには、地域に密着した団員の確保は必要不可欠である。	<ul style="list-style-type: none"> 団員が安全に活動できるよう、被服、資機材等の安全装備品を貸与した。 団員の報酬の見直しや活動内容の検討を行い処遇の改善を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の装備の基準を踏まえて、安全確保対策、救助用資機材、情報通信機器等の装備を更に充実強化し、引続き安全な活動環境づくりを目指す。 多様化する消防団の活動を見直すことで、負担軽減を図り、団員の加入促進へとつなげる。
	60101080		93,307,711	1 消防本部 消防課				
	消防団活動事業		13,747,427	2 鈴木 智博				
			116,909,920	3 極めて高い				
			101,382,521	4 高い				
		15,527,399	5 高い					
7	消防・救急体制の充実	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所車庫の維持管理を実施する。	5,381,644	事務事業評価		市内22か所の詰所車庫を調査し、修繕を実施している。しかし、老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕を行い維持管理を図る必要がある。	東部分団2号車他6か所の詰所修繕を行い、消防団の活動拠点としての機能維持を図った。	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化度調査を実施し、必要により修繕等を行う。 施設の長寿命化を図るとともに、地域の活動拠点としての機能を維持していく。
	60101090		3,569,709	1 消防本部 消防課				
	消防団施設管理事業		1,811,935	2 鈴木 智博				
			9,671,525	3 高い				
			5,840,837	4 高い				
		3,830,688	5 高い					
						改善の効果	高い	

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R4決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費					
8	消防・救急体制の充実	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	23,279,152	事務事業評価		・特定防火対象物に対して立入検査を行い、早期に違反是正を実施する。 ・実態が把握できていない非特定防火対象物について調査し、違反があれば是正を行う必要がある。	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	60101100		604,808	1 消防本部 消防課				
			22,674,344	2 鈴木 智博				
	火災予防推進事業		30,063,543	3 高い				
			749,654	4 極めて高い				
		29,313,889	5 高い					
							改善の効果	高い
9	消防・救急体制の充実	法令に基づき、危険物施設や煙火消費に係る事務の手続き及び立入検査等を適正に行い、危険物施設や煙火に関連する事故の発生を防止、市民の安全を確保する。	20,859,305	事務事業評価		・危険物施設の許可、認可及び施設への立入検査を行い、安全操業の推進を図っている。 ・事故を未然に防ぐため、継続した立入検査や指導が必要である。 ・規制対象物質(PFOS)を含んでいる泡消火薬剤の廃棄処分が必要である。	・危険物施設からの危険物漏えい事故を防ぐため、全ての危険物施設を対象に立入検査を行った。 ・事故防止対策が必要な事業所等には適正な指導を行い、必要な措置を完了させた。 ・PFOS含有泡消火薬剤の適正な廃棄処分を行った。	危険物施設は年々減少傾向となっているが、既存の施設は全体的に老朽化が進んでいる。このことから、事故防止に向けた安全対策の推進を図り、業態に応じた適正な指導を継続的に取り組んでいく必要がある。
	60101110		214,906	1 消防本部 消防課				
			20,644,399	2 鈴木 智博				
	危険物災害防止事業		21,806,309	3 高い				
			2,009,093	4 極めて高い				
		19,797,216	5 高い				改善の効果	高い
10	消防・救急体制の充実	・災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	37,565,785	事務事業評価		緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	・法定点検や自主点検を徹底し、交換が必要な部品を適切に交換することで、緊急車両の維持管理を行った。 ・特殊積装車(高所放水車、CAFS装備車)のメンテナンスを積装メーカーで実施して安全運行を徹底した。	・車両及び資機材等の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。 ・特殊積装車は高度な整備と管理が必要なため、計画的なメンテナンス等により安全運行を図る必要がある。
	60101120		12,407,793	1 消防本部 消防課				
			25,157,992	2 鈴木 智博				
	消防車両等維持管理事務		38,345,719	3 高い				
			9,414,306	4 高い				
		28,931,413	5 普通				改善の効果	普通
11	消防・救急体制の充実	・水難救助活動の円滑な運営を図る。 ・水上バイクの機動性を生かし、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	13,918,009	事務事業評価		・水難事故発生において迅速で効率的な救助活動を実施するため、特別水難救助隊の知識・技術の向上に努めた。 ・水難救助活動を安全かつ継続的に行うため、特別水難救助隊員の新規養成が必要である。	・特別水難救助隊員新規養成を行った。 新規養成隊員3人 ・水難救助活動に必要な資機材を整備した。	・水難救助活動の円滑な運営のため、計画的に特別水難救助隊員の養成を行い、継続して訓練を実施する。 ・水上バイク、トレーラの法定点検や自主点検を実施し、維持管理を行う。 ・水上バイクの故障時等に対応するため、水上バイクの追加購入の検討が必要である。
	60101130		1,240,711	1 消防本部 消防課				
			12,677,298	2 鈴木 智博				
	特別水難救助隊活動事業		15,326,653	3 極めて高い				
			1,166,871	4 高い				
		14,159,782	5 高い				改善の効果	極めて高い
12	消防・救急体制の充実	・防火水槽を改修し、有蓋化、耐震化を図る。 ・火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。	7,600,252	事務事業評価		消防力の一つである防火水槽の整備は消防の責務であり、耐震性を有する二次製品を選択し、老朽化した防火水槽取壊しと併せて市有地への設置を推進する。	計画に基づき、吉胡町と宇津江町に防火水槽2基を設置し、老朽化した防火水槽の更新を行った。	老朽化した防火水槽の取壊しを行うとともに、消火栓配置を考慮し、防火水槽の適正配置に努める。
	60102010		0	1 消防本部 消防課				
			7,600,252	2 鈴木 智博				
	防火水槽整備事業		26,993,487	3 高い				
			19,204,123	4 高い				
		7,789,364	5 普通				改善の効果	高い
13	消防・救急体制の充実	火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修等を行い有効水利を確保する。	9,090,666	事務事業評価		消防水利を常時使用できるよう巡視点検を充実させるとともに、安全上の維持管理や環境改善、看板等の管理の徹底を図る。	水利標識、防火水槽用金網交換を実施するとともに、老朽化した防火水槽2基の取壊しを行った。	・有事の際に円滑な消防業務が行えるように消防水利の維持管理を行うとともに、老朽化した消防水利の取壊しや修繕に取り組む。 ・無蓋防火水槽の安全対策を計画的に実施する必要がある。
	60102020		3,607,967	1 消防本部 消防課				
			5,482,699	2 鈴木 智博				
	消防水利維持管理事務		11,847,278	3 高い				
			2,872,638	4 高い				
		8,974,640	5 普通				改善の効果	高い
14	消防・救急体制の充実	・消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 ・火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	19,478,388	事務事業評価		水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、消防水利の効率的な整備を実施する。	消火栓の新設・布設替え等の整備は、水道事業と協議し、消防水利の基準に基づき適正配置に努めることができた。 消火栓設置工事 1基 補水栓撤去工事 5基	水道事業と連携し、防火水槽配置を考慮しながら消防水利の基準に基づき消火栓の適正配置に努める。
	60102030		16,729,480	1 消防本部 消防課				
			2,748,908	2 鈴木 智博				
	消火栓設置・維持管理事務		21,469,083	3 高い				
			16,006,170	4 高い				
		5,462,913	5 高い				改善の効果	高い

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R4決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い					
15	消防・救急体制の充実 60102040	・はしご付消防自動車の機能及び安全性を確保するため、主要部品の分解整備を実施する。 ・各種災害事案に対応するため、機能低下した泡原液搬送車の小型動力ポンプを更新することで、消防力の向上を図る。	34,112,602	1 消防本部 消防課	消防車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	・はしご付消防自動車の機能及び安全性を確保するため、主要部品の分解整備を行った。 ・各種災害事案に対応するため、機能低下した泡原液搬送車積載小型動力ポンプの更新を行った。	・消防車両更新計画に基づき、地域の特性に合わせた車両機装をするともに、車両積載資機材についても各種災害事案に活用できる資機材の導入に配慮する。 ・消防活動に欠くことができない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新する。	改善の効果	高い				
	33,385,000		2 鈴木 智博	3 極めて高い							4 極めて高い	5 高い	
	727,602		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
			1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
16	消防・救急体制の充実 60102050	地域住民の安心・安全を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	12,670,533	1 消防本部 消防課	消防団車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	・更新年数を経過し老朽化した消防ポンプ自動車1台(神戸分団2号車)を更新した。 ・現有消防ポンプ自動車を運行するためには、準中型免許が必要であるため、車両更新に合わせ普通免許で運行可能な小型動力ポンプ付積載車に変更した。	・更新に際しては、新免許制度への対応を考慮し、地域の特性に合わせた車両機装をするともに、車両積載品についても震災時に活用できる資機材の導入に配慮する必要がある。 ・消防団活動に欠くことのできない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新を行う。	改善の効果	高い				
	9,938,767		2 鈴木 智博	3 極めて高い							4 極めて高い	5 高い	
	2,731,766		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
	14,914,885		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
17	消防・救急体制の充実 60102070	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における活動拠点としての機能を確保するため、施設の長寿命化を行う。	3,008,258	1 消防本部 消防課	・定期的に点検を実施し、老朽化等の不良箇所を早期に発見して修繕等を実施する必要がある。	外壁改修工事を行い、施設の長寿命化を図った。	塩害等による劣化の進行を定期的に確認し、適切な時期に修繕、改修を計画する。	改善の効果	高い				
	628,430		2 鈴木 智博	3 高い							4 高い	5 普通	
	2,379,828		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 高い	4 高い	5 普通
	18,057,025		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 高い	5 普通
18	消防・救急体制の充実 60102100	東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を行う。	17,351,554	1 消防本部 消防課	・東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令システム機能の維持を行った。 ・消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全体更新に向けた、東三河5市の協議が必要である。	消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を適切に行い、安定した情報の管理と活用ができた。	消防緊急通信指令施設及び消防救急デジタル無線設備の全体更新について、東三河5市で協議し、内容を精査し、適切な時期に実施する。	改善の効果	普通				
	11,476,596		2 鈴木 智博	3 極めて高い							4 高い	5 高い	
	5,874,958		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 高い	5 高い
	15,801,016		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 高い	5 高い
19	消防・救急体制の充実 60103010	救急救命士等を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士を順次養成する。また、心肺停止前の静脈路確保及び輸液、血糖値測定及びブドウ糖溶液投与ができる救急救命士を養成する。	37,249,235	1 消防本部 消防課	救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1人以上の養成が必要である。また、救急救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士の養成も必要である。	救命士業務の高度化に対応できる運用救急救命士の計画的な養成を実施した。 名古屋市救急救命研修所へ派遣1人 薬剤投与認定救急救命士の養成1人 気管挿管認定救急救命士の養成1人 処置範囲拡大認定救急救命士の養成4人	・救急救命士業務の高度化に対応するため、継続して薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士を養成する。 ・救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難となるため、計画的に救急救命士を養成していく。	改善の効果	高い				
	3,299,720		2 鈴木 智博	3 極めて高い							4 極めて高い	5 高い	
	33,949,515		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
	36,866,254		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
20	消防・救急体制の充実 60103020	・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。	284,492,777	1 消防本部 消防課	・救命率及び社会復帰率の向上を図るため、チームトレーニングを十分に行い、現場滞在時間の短縮、質の高い救急活動を行う必要がある。 ・安全で円滑な業務の運営を行うため、感染対策を徹底する必要がある。	・様々な症例を想定したチームトレーニングを行い、円滑な活動と質の向上に努めた。 ・感染防止対策用資機材の整備に努め、全救急出動において感染防止対策を行った。	・高度化する救急業務に対応するため、資機材の充実及び隊員の育成を図る。 ・救命率の向上を図るため、コンビニエンスストアのAED設置を継続する。 ・耐用年数を過ぎた資機材の計画的な更新を図る必要がある。	改善の効果	高い				
	11,825,112		2 鈴木 智博	3 極めて高い							4 極めて高い	5 高い	
	272,667,665		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
	290,441,659		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 極めて高い	5 高い
21	消防・救急体制の充実 60103040	救命講習(AED講習を含む)を実施し、市民等への応急手当の普及啓発に努め救命率を高める。	5,693,137	1 消防本部 消防課	救命率の向上には、救急隊到着前のバイスタンダーによる応急手当が重要であり、地域、企業等でAED設置が進む中、救命講習の受講者数を増やしていく必要がある。	・JRC蘇生ガイドラインの変更に伴い、講習用のレッスンプラン及び動画を更新した。 ・救命講習受講者2,971人	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となり、救命講習の受講者数の増加が見込まれるため、感染対策を徹底し、安心して受講できる環境を作る必要がある。	改善の効果	高い				
	228,221		2 鈴木 智博	3 極めて高い							4 高い	5 高い	
	5,464,916		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 高い	5 高い
	12,300,818		1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博							3 極めて高い	4 高い	5 高い

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価					事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3~5年程度をイメージ)		
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
	事務事業名		R4決算額(円)	事務事業評価									
			内 直接事業費	1 担当部課名	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価	4 有効性評価	5 効率性評価					
			内 人件費										
22	消防・救急体制の充実	・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	16,522,653	事務事業評価					緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両整備が必要である。今後も法定点検や自主点検を実施し、徹底した維持管理を行う必要がある。	法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両として維持管理を行った。	車両及び資機材等の法定点検及び自主点検の徹底を継続し、故障が発見された場合は修繕を行い、緊急車両として維持管理を行う。		
	60103050		2,408,326	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 極めて高い	4 高い	5 普通				改善の効果	普通
	救急車両等維持管理事務		14,114,327	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			17,224,564	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			2,881,806	4 高い	5 普通								
			14,342,758	5 普通									
23	防災・減災体制の充実	地震・津波、風水害等による自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動及び防災資機材等の整備を支援する。	20,303,360	事務事業評価					・奨励金、補助金により自主防災活動の支援を実施。 ・自主防災活動推進地区を毎年2地区指定して自主防災活動の重点支援を実施しているが、地域防災力のさらなる向上に向け、継続実施の必要がある。	・田原南部、泉地区で推進地区活動の重点支援を実施。地域の特性に応じた取組を行うことで、防災上の課題を検討し、地域防災力の向上及び地域住民の意識高揚を図ることができた。	・推進地区活動重点支援の取組は、令和8年度で各コミュニティ協議会が2回通り実施を終える予定であるので、継続していく。発生が危惧されている震災に対応するため、さらなる地域防災力の向上に向け取組の充実を図る。		
	60201010		12,077,620	1 防災局 防災対策課	2 河合 欽史	3 極めて高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	自主防災活動推進支援事業		8,225,740	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			20,466,004	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			10,562,979	4 高い	5 高い								
			9,903,025	5 高い									
24	防災・減災体制の充実	各種訓練の実施、講習会・講演会等の開催を通して、市民へ地震や津波、その他自然災害への防災・減災意識の高揚を図る。	8,087,454	事務事業評価					・防災訓練、防災カレッジ、ほーもん講座、子ども防災教室等を実施し、市民の意識啓発を図った。 ・全職員を参加対象とした非常参集を含む地震災害対応訓練では、各部局の役割を認識させることができ、災害対応力の向上を図ることができた。	・より実践的な内容を取り入れた訓練・講習会等の実施による啓発を推進していく。 ・庁内各部局に対する訓練や講習などに取り組み、災害対応力の向上を図っていく。			
	60202010		1,890,878	1 防災局 防災対策課	2 河合 欽史	3 極めて高い	4 高い	5 普通			改善の効果	高い	
	防災意識啓発事業		6,196,576	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			15,840,412	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			4,135,078	4 高い	5 普通								
			11,705,334	5 普通									
25	防災・減災体制の充実	防災会議の開催、各種計画及びマニュアル等の改定・進捗管理、自助による防災対策の支援等により、災害に強いまちづくりを推進する。	28,310,281	事務事業評価					・地域防災計画の修正及び各種計画等における進捗管理を実施した。 ・田原市災害対策本部運営チェックマニュアルを改定した。 ・自助による防災対策を支援するため、田原市ハザードマップを作成し、全戸配布した。	・地震・津波災害、風水害等の大規模災害に対し、的確な状況把握と迅速な行動、初動から復旧・復興に関する一連の災害対策を的確に推進していく。 ・また、国のガイドライン等に基づき、南海トラフ地震及び風水害に備えた取組を図る。特に南海トラフ地震臨時情報についての周知活動を行っていく。			
	60202030		6,093,985	1 防災局 防災対策課	2 河合 欽史	3 極めて高い	4 高い	5 高い			改善の効果	高い	
	災害対策事業		22,216,296	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			35,676,092	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			6,858,352	4 高い	5 高い								
			28,817,740	5 高い									
26	防災・減災体制の充実	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資機材を整備し被害の軽減を図る。	581,447	事務事業評価					台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、消防署に備蓄している防災資機材の整備と市内に備蓄している防災用備蓄土のうの更新を行った。 防災用備蓄土のう更新 5,400袋	豪雨や台風等の災害に対応するため、必要とされる備蓄資機材の整備を行う。			
	60202050		532,403	1 消防本部 消防課	2 鈴木 智博	3 高い	4 高い	5 高い			改善の効果	高い	
	災害対策事業(消防)		49,044	3 高い	4 高い	5 高い							
			3,109,103	3 高い	4 高い	5 高い							
			2,093,413	4 高い	5 高い								
			1,015,690	5 高い									
27	防災・減災体制の充実	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	2,486,255	事務事業評価					浸水等の被害軽減を図るために排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、災害対応者の安全性向上を図るために資材の充実にも努めた。	各地で発生している豪雨等大規模な水害に備えるため、さらなる資機材の充実とともに資機材の使用手法等の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。			
	60203030		516,756	1 都市建設部 維持管理課	2 小谷 生典	3 極めて高い	4 高い	5 普通			改善の効果	高い	
	水防対策事業		1,969,499	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			3,091,051	3 極めて高い	4 高い	5 普通							
			666,151	4 高い	5 普通								
			2,424,900	5 普通									
28	防災・減災体制の充実	災害時における市民の救助救出及び避難生活に対処するため、必要となる非常用食糧等の備蓄及び市防災倉庫等の適切な維持管理を行う。	16,325,677	事務事業評価					・避難所の良好な生活環境の確保に向け、必要物品を計画的に備蓄する必要がある。 ・限られたスペースに必要な備蓄ができるよう、分散備蓄等を推進する必要がある。	・備蓄計画に基づき、物品の計画的な備蓄を行った。 ・防災備蓄倉庫の棚卸しを実施し、物品等の適正な管理を行った。	・備蓄計画に基づいた物品の購入・更新を図りつつ社会動向に注視し、災害時に有効な物品の備蓄を検討・配備していく。 ・指定避難所への分散備蓄の推進を図る。		
	60203040		9,523,838	1 防災局 防災対策課	2 河合 欽史	3 極めて高い	4 高い	5 高い				改善の効果	高い
	防災備蓄資機材等管理事業		6,801,839	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			18,238,915	3 極めて高い	4 高い	5 高い							
			13,658,398	4 高い	5 高い								
			4,580,517	5 高い									

No	施策名	事務事業の目的	R3決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	令和4年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	令和5年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3~5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	1 担当部課名				
	事務事業名		R4決算額(円)	2 評価責任者氏名	3 妥当性評価			
			内 直接事業費	4 有効性評価	5 効率性評価			
			内 人件費	事務事業評価				
29	防災・減災体制の充実	防災施設(津波避難施設、防災備蓄倉庫)や防災設備(津波避難看板、避難誘導照明灯、防災ベンチ等)の適切な維持管理を行う。	2,958,448	1 防災局 防災対策課	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所に開設される医療救護所の医療救護体制の確保・充実が課題。 飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の老朽化が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水兼用耐震性貯水槽マンホール蓋嵩上修繕を実施した(2か所)。 災害用救急医療セットの更新を行った。 災害発生時に設備等が適正に使用できるように点検等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害用救急医療資材の継続的な更新を行う。 防災設備の点検を継続的にを行い、必要に応じて修繕等を行う。 	
	60203050		2,720,035	2 河合 欽史				
			238,413	3 高い				
	防災施設等管理事業		8,018,287	4 高い				
			5,360,324	5 普通				
			2,657,963				改善の効果	普通
30	防災・減災体制の充実	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民に対し迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	45,862,380	1 防災局 防災対策課	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の維持管理を行っているが、無線機器等の老朽化が著しく、修繕等が難しくなってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 機器の保守点検を実施した。 故障機器の修繕・改修を行った。 機器更新に係る実施設計を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 確実な情報伝達手段を確保するため、老朽化が進む同報系無線機の更新工事を実施する。 防災アプリを整備し、情報伝達手段の多重化を図る。 	
	60203060		33,980,825	2 河合 欽史				
	防災情報通信施設等管理事業		47,514,628	3 極めて高い				
	(60203060,60203020)		35,814,308	4 極めて高い				
			11,700,320	5 高い				
							改善の効果	普通
31	防災・減災体制の充実	自主防災会の活動拠点となる集会所等の耐震改修を促し、自主防災活動を支援する。	0	1 防災局 防災対策課	<ul style="list-style-type: none"> 地区集会所等131施設のうち、耐震改修未実施の施設が7棟(木造3棟、非木造4棟)ある。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修が必要であった豊島町清吾集会所の耐震改修補助を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修未実施の施設の改修を促し、自主防災活動の支援を継続する。 	
	60204010		0	2 河合 欽史				
	地区集会所耐震化推進支援事業		5,152,324	3 高い				
			4,977,000	4 普通				
			175,324	5 普通				
							改善の効果	普通
32	防災・減災体制の充実	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	60,104,137	1 都市建設部 建築課	<ul style="list-style-type: none"> 各種啓発活動とともに、無料耐震診断や耐震化工事への補助等を行っている。 コロナ禍で地域と一体となった耐震化・減災化の取組等が停滞した。耐震性の低い建築物所有者へ耐震化対策の関心を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域での耐震化講演会や、過去に無料耐震診断の実施した方を対象とした無料相談会の開催、小学校への耐震出前講座を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 診断ローラー作戦や無料相談会、出前講座、ダイレクトメールなどでの啓発活動を行う。また、大学教授や愛知建築地震災害軽減システム研究協議会との連携による地域への防災街づくりの取組支援や、耐震改修工事を安価にするため大工等への勉強会の開催など一層の耐震化啓発を行う。 	
	60204020		42,801,061	2 平井 堅一郎				
	建築物耐震化推進支援事業		36,098,858	3 極めて高い				
			17,303,076	4 高い				
			24,272,770	5 普通				
			11,826,088				改善の効果	普通